

鎌倉市公共施設再編計画市民ワークショップ手引き

1 市民ワークショップの目的

このたび開催する市民ワークショップは、以下の 2 点を主な目的としています。

(1) 公共施設再編の取組に関する認識共有

公共施設再編の概念や取組を、再編シミュレーションを通して体感的に把握することにより、参加した市民の皆さんとの認識の共有化を図ります。

(2) 再編計画の検討における課題やアイデアの把握

公共施設の再編を進めるにあたり、市民目線での問題点、サービス向上に向けて望むこと、利害調整のポイントを把握することで、市民の皆さんに受け入れられやすい、実行性のある再編計画策定に繋げています。

2 開催概要

1 日目 (6 月 21 日)

WS① 再編計画について知ろう

- ・鎌倉市の取組経緯と基本方針等 (10 分)
- ・ミニ講座 (有識者による公共施設再編に係る講演) (50 分)
- ・グループ討議 (サービスと施設について考えよう) (30 分)

WS② 公共施設再編シミュレーション①

- ・ルール(進め方)説明 (20 分)
- ・グループ討議 (50 分)
- ・中間発表 (5 分×6 グループ) (30 分)

2 日目 (6 月 28 日)

WS③ 公共施設再編シミュレーション②

- ・グループ討議 (前日の検討結果再検証) (45 分)
- ・各グループの検討内容の見学・各グループ検討内容取りまとめ (50 分)
- ・グループ発表 (10 分×6 グループ) (60 分)
- ・全体意見交換 (30 分)

3 参加人数

市 民 : 40 名程度 (6 グループ×7 名程度)

4 市民ワークショップ開催日時等

①日時：1 日目 平成 26 年 6 月 21 日 (土) 13:30~17:00

2 日目 平成 26 年 6 月 28 日 (土) 13:30~17:00

②場所：市役所第 3 分庁舎 1 階 講堂

5 ワークショップの内容

【1日目 再編計画について知ろう】

(1) 鎌倉市の取組経緯と基本方針等

【概要】

鎌倉市の公共施設再編計画検討について、これまでの経緯と基本方針等を説明します。

(2) ミニ講座（有識者による公共施設再編に係る講演）

【概要】

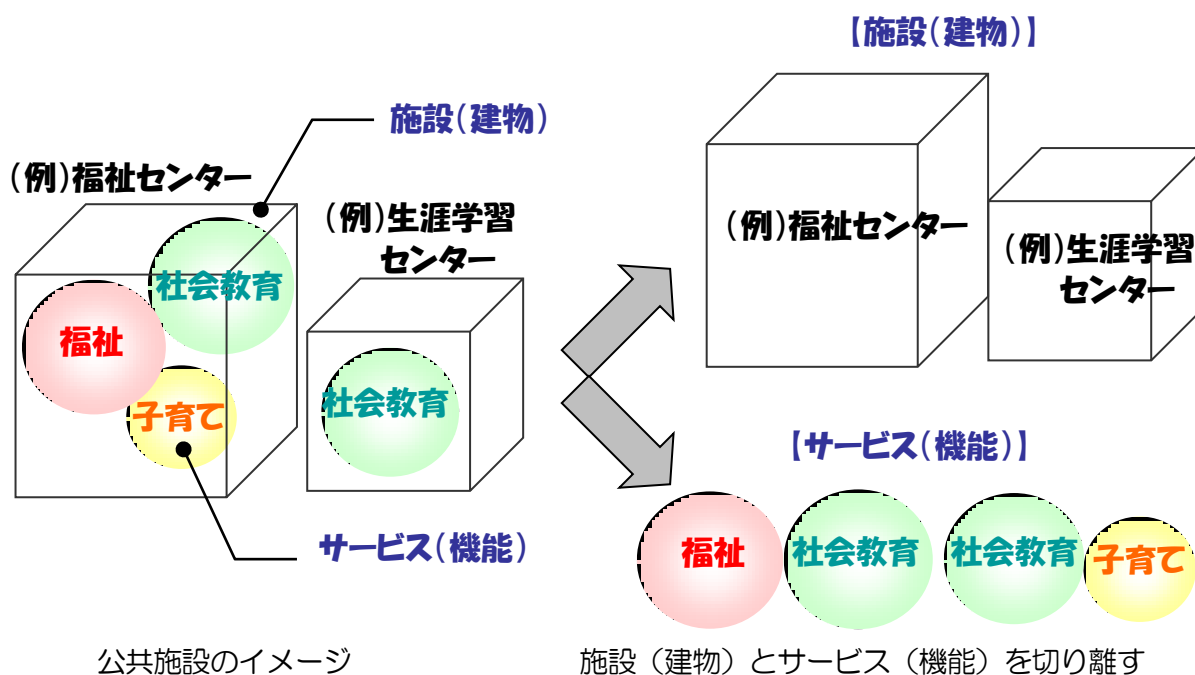
南学氏（東洋大学客員教授）から、他自治体における公共施設再編の取組事例などをご紹介します。

(3) グループ討議 ～ サービスと施設について考えよう ～

【概要】

鎌倉市の8種類の公共施設を取り上げ、施設（建物）とサービス（機能）を切り離して、①場所、②費用負担の2つの視点からの評価を、各グループに分かれて意見交換します。

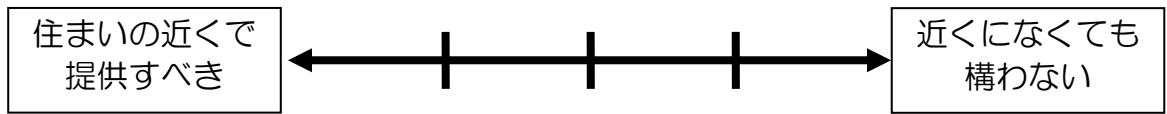
※後半で実施する再編シミュレーションゲームを進めるための検討の視点になります。



a) 評価の視点と評価軸

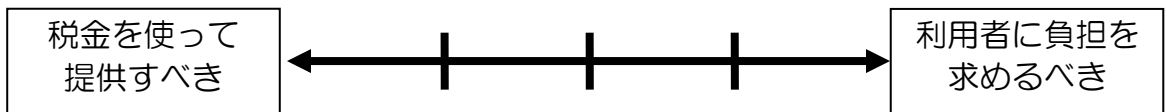
○視点1：できるだけ「住まい」の近くで提供すべきサービスはどれですか？
逆に、必ずしも近くになくとも構わないサービスはどれですか？

<評価軸>



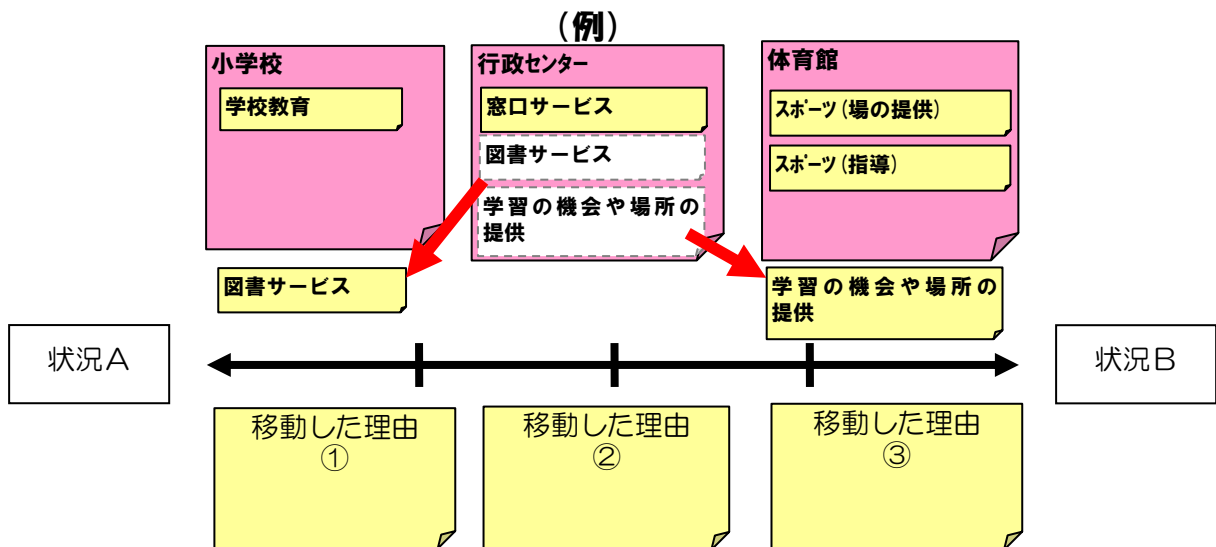
○視点2：できるだけ利用者に負担を求めず、市の税金を使って提供すべきサービスはどれですか？
逆に、できるだけ利用者に負担を求めるべきサービスはどれですか？

<評価軸>



b) 施設カードを用いた評価のイメージ

やり方 評価軸上にある施設（建物）カードとサービス（機能）カードの組合せから、サービス（機能）カードのみ移動し、評価軸上の別の位置に動かしてください。
また、なぜその位置に移動したのか、理由を付箋紙に記入してください。



(参考) グループ討議で検討対象となる公共施設と提供する公共サービス一覧

施設	サービス	施設	サービス
1. 行政センター	窓口サービス	5. 青少年会館	青少年の交流と活動の場
	地域活動支援		サークル活動等の場の提供
	学習の機会や場所の提供	6. 老人福祉センター	高齢者の介護、生活支援等
	図書サービス（資料収集及び提供）		高齢者の健康増進
2. 小中学校	学校教育	7. 文化ホール	音楽・演劇等の鑑賞
	地域開放（サークル活動等の場の提供）		展示・イベント等の場の提供
3. 保育園	保育	8. 体育館	スポーツ（場の提供）
4. 子ども会館・子どもの家	学童保育		スポーツ（指導）
		子どもの遊び場	

【1 日目と 2 日目 公共施設再編シミュレーション】

(4)公共施設再編シミュレーション

今から 20 年後（平成 46 年頃）の鎌倉市を想定し、市内を 3 つのエリアに分けたグループ毎に、適切な公共サービスのあり方について意見交換を行いながら、公共施設を再編してポイントの削減を目指します。

【グループ構成等】

項目	内容
グループ構成	3 エリア×2 グループ ※3 エリア：鎌倉エリア、腰越・深沢エリア、大船・玉縄エリア
対象施設（群）	① 各エリア内のすべての公共施設 ② 各エリアの周辺に存在する公共施設

【対象エリアの考え方】

- ① 鎌倉エリア：鎌倉駅を中心としたエリア
- ② 腰越・深沢エリア：モノレール沿線を中心としたエリア
- ③ 大船・玉縄エリア：大船駅を中心としたエリア

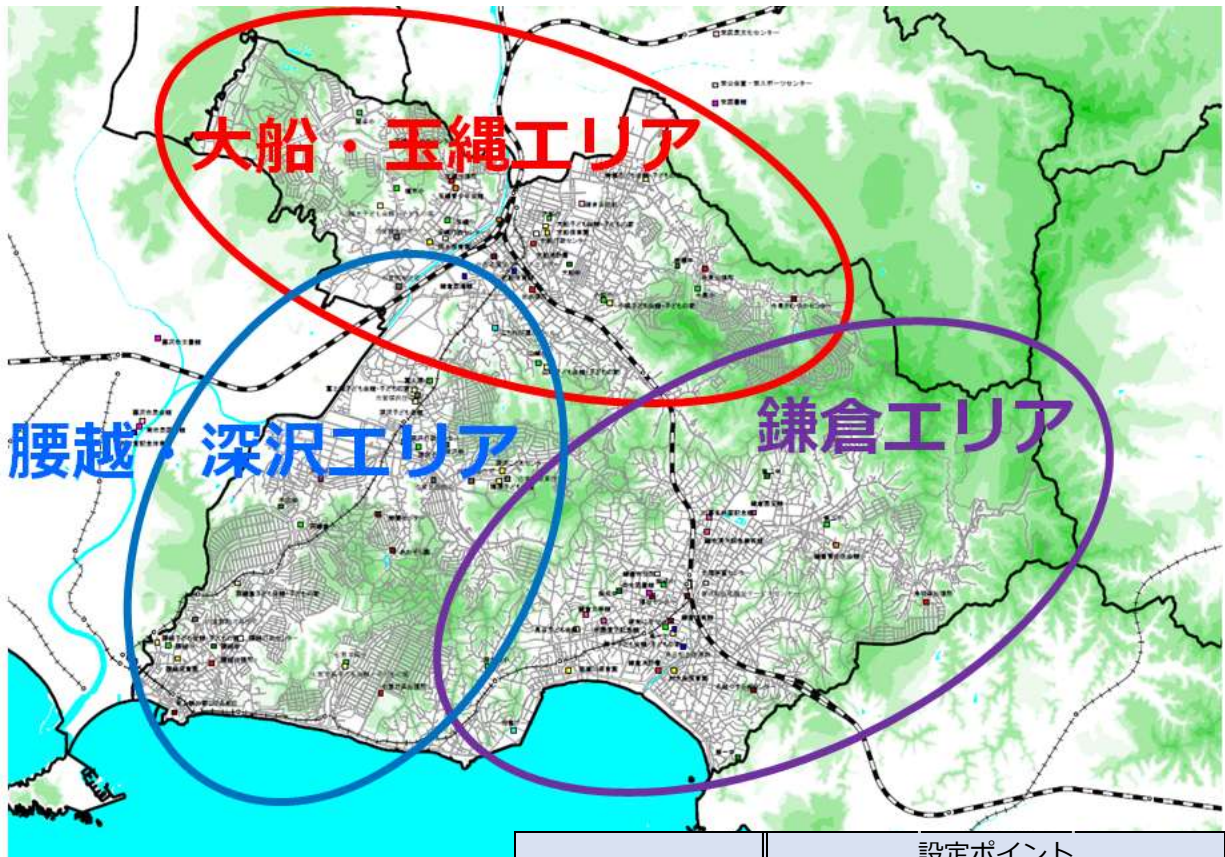


図1 対象エリアと設定ポイント

*検討対象施設は、各エリア内の主要な公共施設としますが、エリア外の周辺施設についても、再編上必要があるれば、対象とすることができるものとします。

エリア	設定ポイント		
	施設	サービス	合計
鎌倉エリア	3,170	2,210	5,380
腰越・深沢エリア	3,620	1,640	5,260
大船・玉縄エリア	3,180	2,160	5,340
鎌倉市全体	9,970	6,010	15,980

【ご留意いただきたいポイント】

- ・鎌倉市公共施設再編計画基本方針では、施設の更新に係るコスト（今回で言う施設ポイント）を約 5 割削減することを目標としています。
- ・行政サービスを減らすことが目的のシミュレーションではありません。
- ・皆さんが考えた再編のプロセスを知りたいので、なぜそのような方法で再編するのか、考え方や理由を付箋に記述して残しておいてください。

①シミュレーションの仮想条件

i) 役割について

- 皆さんは、各エリアに住んでいる市民（A:学生、B:独身会社員、C・D:子育て夫婦、E:夫婦、F:老夫婦、G:単身高齢者）です。

※最後まで、その役割を認識していただきながらゲームを進めてください。

ii) 設定時期について

- 時期は、今から 20 年後（平成 46 年頃）です。

iii) 対象地域について

- 場所は図 1 の地図の範囲です。
- その範囲にある公共施設の再編を考えます。

iv) 地域住民について(20年後を想定して)

- 人口は現在の 17 万 3 千人から 16 万人位まで約 8%減少し、少子高齢化が進んでいます。
- 児童・生徒の減少が進んでいることから、小中学校には、各校 3 教室分の余裕スペースが生じています。（※小中学校は、この時点では統廃合していません。）
- 65 歳以上の高齢者は 3 人に 1 人の割合になっています。

②やり方(施設カードの操作方法)

i) 施設カードとサービスカードについて

- 公共施設は、施設カードとサービスカードのセットで成立しています。
- 施設カードは建物の大きさと建築年数に応じて 4 種類を設定しています。
- 施設カードとサービスカードには廃止によるコスト削減ポイントが記されています。
 - ・施設カードのポイント ⇒維持修繕に係る経費が高いもの(大きくて古いもの)ほどポイントが高い
 - ・サービスカードのポイント⇒事業運営に係る費用が高いものほどポイントが高い

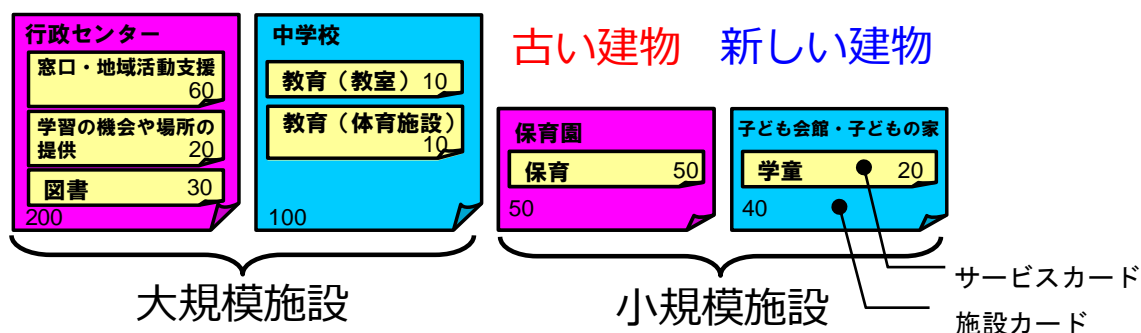


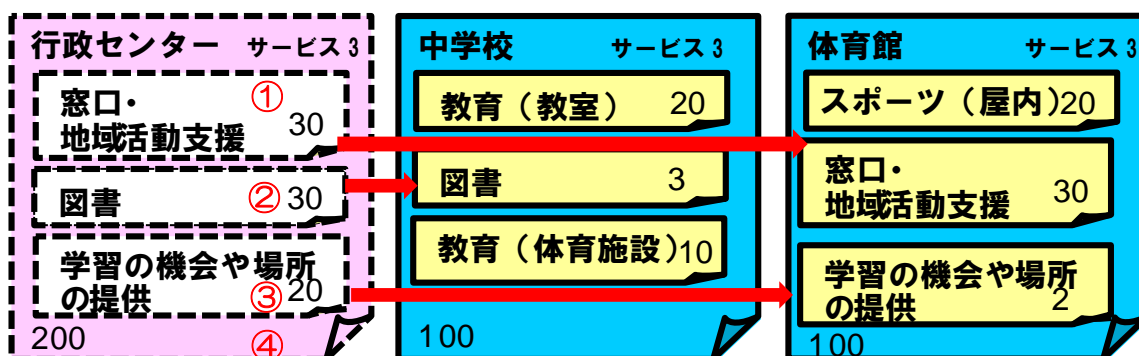
図 2 施設カードとサービスカードのイメージ

ii)基本的なカードの動かし方について

- サービスカードは、廃止（取り除くこと）や移動（他の施設カードへ移すこと）ができます。
- サービスカードは、施設カードに書かれたサービス数だけ、施設カードの上に乗せることができます。
- 他の施設カード上に空きがある場合のみ、その施設カードへ移すことができます。
- 施設カードの上にサービスカードが無くなったら、建物を廃止することができます（施設カードを地図上から取る）。
- 施設カードは、地図上の他の場所へ移動することはできません。

【廃止と移動のルール】

	廃止（取り除くこと）	移動（他へ移すこと）
施設カード	○できる ※サービスカードが残っていると廃止できません	×できない
サービスカード	○できる	○できる ※他の施設カード上に空きがある場合



- ①行政センターの「窓口・地域活動支援」サービスカードを体育館に移動
- ②行政センターの「図書」サービスカードを中学校に移動
- ③行政センターの「学習の機会や場所の提供」サービスカードを体育館に移動
- ④行政センターにサービスカードがなくなったので、施設廃止ができる

図3 基本的なカードの動かし方のイメージ

【ご留意いただきたいポイント】

- 行政サービスを減らすことが目的のシミュレーションではありません（再掲）。
- 小中学校には余裕教室が3室あり、そこに教育以外のサービスカードを移動させることができますが、小中学校同士の統廃合はできません。
- 赤い施設カードの施設（古い建物）は、面積を増やすことはできませんが、改修工事等にあわせて、施設をリニューアルすることになります（必ずしも現状の間取りや設備でなくてよい）
- 皆さんに考えていただく再編のプロセスが知りたいので、なぜそのような方法で再編するのか、考え方や理由を付箋に記述して残しておいてください（再掲）。

③ボーナスステージ

カードの移動や廃止だけではポイント削減することは難しいことが予想されます。また、新たなサービスの追加の提案がなされることも予想されます。そこで、一定時間が経過したら、次の3つのボーナスステージを用意しています。ここで加減されるポイントは、削減効果のポイントとして換算されます。

i) 資産売却ステージ(不動産屋さんの登場)(1日目)

- 施設(カード)を廃止した土地は、一定の条件を満たす場合に不動産屋さんに売却できます(売却ポイントカード(緑色)を獲得できます)。
※ただし、売却できる土地とできない土地があります。

ii) 利用料金改定・民間委託ステージ(2日目)

- サービス(カード)については、利用料の改定(有料化)で収入を増やすことができます(料金収入ポイントカード(オレンジ)を獲得できます)。
※利用料金を改定すると、市の負担は減りますが、利用者の負担は増えることになります。
- 民間事業者の参入を促して、市および利用者の負担を減らす取組もあります。

iii) サービス向上ステージ(2日目)

- サービスカード(緑色)を入手して、鎌倉市ならではのサービスの追加や既存のサービスを充実(さらに増やす)させることができます。
- 入手したサービスカードは、空きがある施設カードにしか配置することができません。
- サービス(カード)が増えると運営費用が増えるため、その分、削減したポイントから100ポイントを失うことになります(-100ポイント)。

④発表資料の作成

- 発表資料には、施設配置図とポイント表(下図参照)を用いて発表します。
- 移動又は廃止したカードの取扱について、なぜそのような再編を行った理由を書いてください。
- 全体を通しての再編の考え方を整理し、提案のコンセプトを端的に示すフレーズ(キャッチコピー)を考えてください。

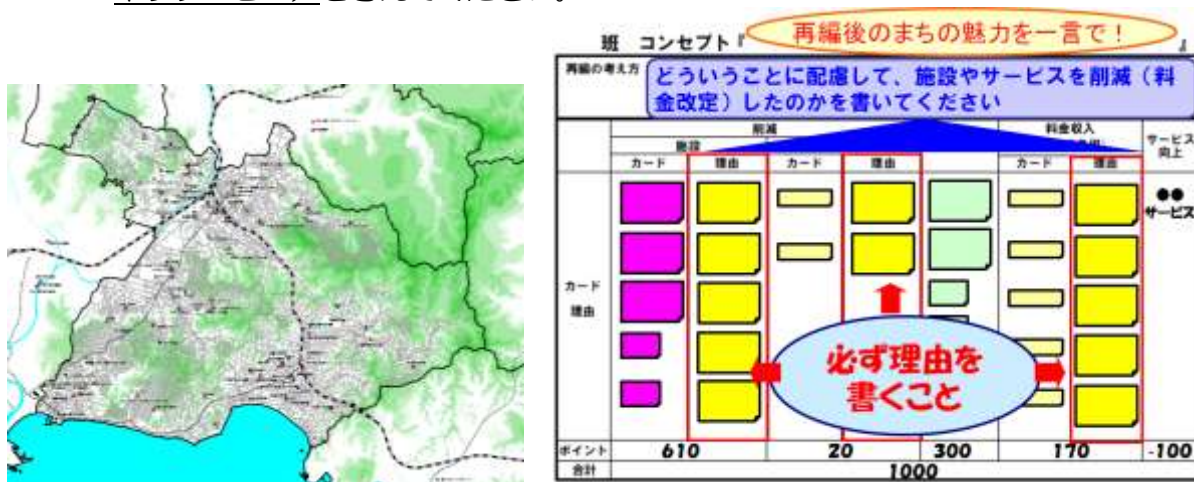


図4 発表資料のイメージ

⑤全体意見交換

- 各グループからの発表や質疑応答の内容など、全体を通して、自由に意見を交換していただきます。
- 多くのポイント削減を達成できていることが望ましい再編案となりますが、いかに市民サービスの低下を招かない工夫や考え方の整理も大切です。
- 再編された施設やサービスの配置、利用者負担ポイントの高さ、サービス向上内容などを評価基準として考慮してください。
- 各エリアでの再編だけでなく、市民の皆さんの生活圏を考慮し、鎌倉市全体あるいは隣接自治体の状況も踏まえて効果的な再編を考えておくことも重要になります。

(5)タイムテーブル

1 日目：6 月 21 日（土）

時間	内容
13:00～13:30	開場
13:30～13:35（5分）	あいさつ・本日の進め方
13:35～14:30（55分）	【情報共有】 ・再編計画検討のこれまでの経緯と基本方針等 ・有識者による公共施設再編に係る講演 （質疑応答）
14:30～14:35（5分）	<休憩>
14:35～15:05（30分）	グループ討議 ～サービスと施設について考えよう～ 自己紹介の後、公共サービス提供場所など2つのテーマを設定し、グループで意見交換をします。
15:05～15:10（5分）	<休憩>
15:10～16:50（100分）	グループ毎に公共施設再編シミュレーションを実施 約20年後を想定し、グループに割り当てられた地域について、トータルコストを減らすための方法を考えます。 シミュレーションは2日間にわたって行いますが、1日目の検討内容の中間発表を行い、グループ間の情報共有を行います。
16:50～17:00（10分）	閉会（次回の説明）

2 日目：6 月 28 日（土）

時間	内容
13:00～13:30	開場
13:30～13:35（5分）	あいさつ・本日の進め方
13:35～14:15（40分）	グループ毎に公共施設再編シミュレーションを実施（続） 1日目の検討内容を踏まえ、新たな視点も考慮しながら、各グループの再編計画を検討します。
14:15～14:25（10分）	<休憩>
14:25～15:15（50分）	他グループの検討内容を見学・意見交換を行った後、各グループの発表内容を整理します。
15:15～15:20（5分）	<休憩>
15:20～16:50（90分）	グループ発表と全体意見交換
16:50～16:55（5分）	講評
16:55～17:00（5分）	閉会